概要版

# 栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）

## （2019～2023年度）

## 人権尊重の社会をめざして

### ～こころ和み、みんな笑顔のあったか“とちぎ”～

- 市民一人ひとりがお互いを認め合い、個性と能力を十分に発揮することができる栃木市
- みんなが、こころ和み、安らぎを感じながら活き活きと笑顔あふれる栃木市
- それぞれの夢をかなえることのできる居心地のよい栃木市

# 「人権」って何だろう？

## 4人の子どもたちと一緒に人権について考えてみましょう

だれもが、幸せに暮らすために必要なものだと思います。様々な人がいて、自分の主張ばかりしているとトラブルも起こるでしょう。

ところで、「世界人権宣言」を知っていますか。1948 年に採択されて、2018 年には 70 周年を迎えました。

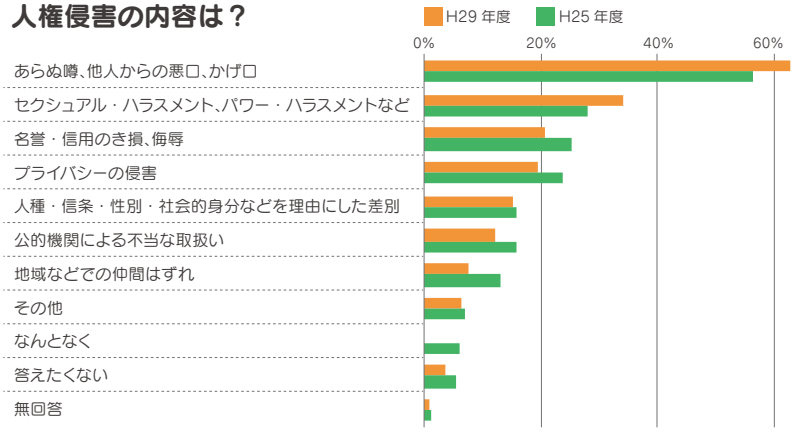
“人権“って、どう思いますか。

20 世紀は、世界を巻き込んだ戦争が 2 度も起こり、特定の人種の迫害、大量虐殺等、人権の侵害や抑制が横行しました。こうした悲劇を二度と繰り返してはならないという反省から、設立された国際連合（国連）が、「人権を保障することが世界平和につながる」として、目標や基準を定めたものです。

そう、すべての人間は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的もしくは社会的出身、財産、門地その他の地位等により差別を受けることなく自由であるということです。みんな平等です。

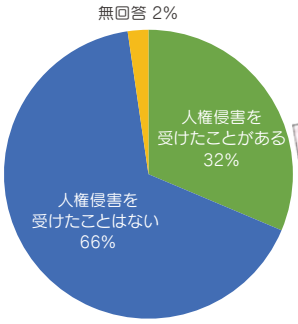
栃木市では、平成 29 年に人権問題に関する市民意識調査を実施し、それによると「3 割の人が人権侵害を受けた」と答えているし、その内容は、5 年前より「あらぬ噂、他人からの悪口、ハラスメント」が増えています。それは、「人権問題への関心が高まり、解決しなければならない課題と捉える人が多くなった」つまり、「意識が向上している」とも言えます。

### 人権侵害の内容は？




栃木市人権問題に関する市民意識調査（H29）

### 人権を侵害されたことはありますか？



それは雇用の場で相手の嫌がる性的言動を繰り返したり、仕事上の立場を利用し、執拗な叱責や陰湿ないじめを繰り返したりすることです。

セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど、最近耳にするようになりました。

ぼくたちは小さな存在だけれど、感じる痛みは一緒です。
お互いの痛みのわかる関係で、お互いを尊重し合える関係であれば、みんなと仲良くできると思います。

“人権”とは「人が幸せに生きるための権利」のことだと思います。そして、「それがないと生きていけないけど、問題が生じないと気づかないから、空気みたいなもの」って誰かが言っていました。

問題が起こった時、「人権尊重のこころ」を忘れずに行動していこうと思います。

様々な人がいるから、中には意見の合わない人に会うかもしれないけど、そんな時はちょっと距離を置いて、相手の人権を尊重したいです。
人権を大切にするということは、「一人ひとりの命を大切にすること」「みんなと仲良くすること」だと分かりました。

## 世界人権宣言と主な人権条約

国際的な動き

- 1948年 ・世界人権宣言
- 1965年（1995） ・人権差別撤廃条約
- 1966年（1979） ・国際人権規約 自由権規約（B規約） 社会権規約（A規約）
- 1979年（1985） ・女子差別撤廃条約
- 1984年（1999） ・拷問等禁止条約
- 1989年（1994） ・児童の権利条約
- 2006年（2009）（2014） ・障害者権利条約 ・強制失踪条約

※（　）の中は日本が批准 / 加入年

## 1.女性の問題では・・・

「職場における差別待遇」や「職場におけるセクシャルハラスメント」が多い。

## 婚姻後の姓は・・・

婚姻後の姓については、「当事者二人の意見を尊重して、どちらかの姓を選べばよい」は 7 割近くを占めるが、70 歳以上で「男性の姓を選ぶべき」が多いなど、年齢による差がみられる。

## ほかにもこんな意見が・・・

■エンパワーメントの機会が少ない。【40 歳代・30 歳代・男性】
■女性の人権差別といいながら女性が優遇される制度が多すぎて逆差別に感じる。【30 歳代・女性】

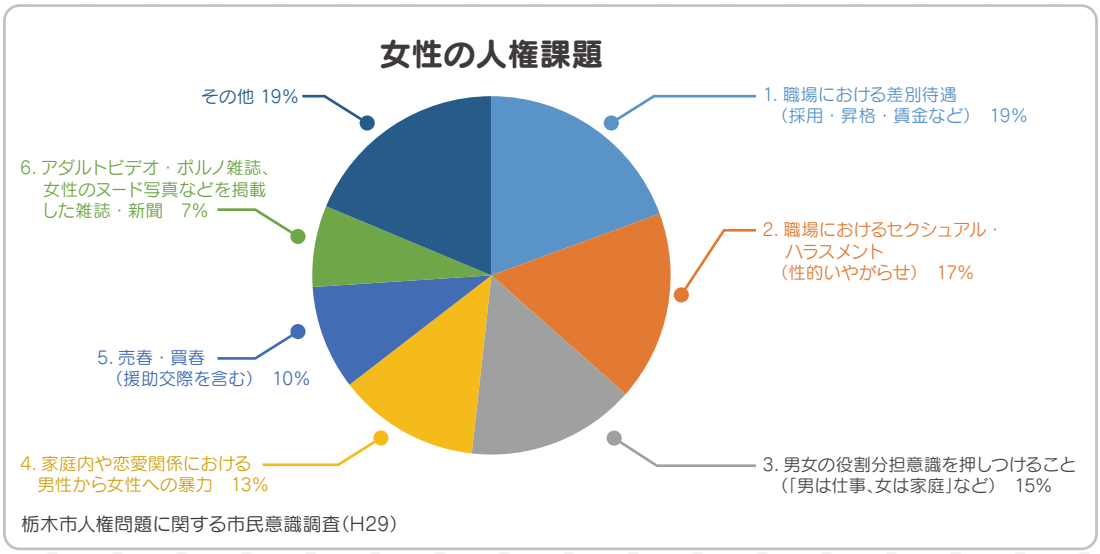
## これからの取組

**性別による人権侵害防止や固定的役割分担意識の解消に向けた様々な取組を推進し、あらゆる分野において男女が互いの人権を尊重し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指していきます。**

市民意識調査を見てみよう！

子どもの「相対的貧困率」は13.9%、「ひとり親家庭の相対的貧困率」は50.8%、その数をどう考えますか。
※厚生労働省2017年発表

「しつけ」といった児童虐待から命を救えなかったニュースが繰り返し報道されています。どうすれば良いのでしょう。




## 2.子どもの問題では・・・

『「仲間はずれ」や「無視」、「暴力」や「嫌がらせ」、「暴言」などのいじめを行うこと』、「保護者が子どもに暴力を加える、面倒を見ないなど虐待をすること」が多い。

## ほかにもこんな意見が・・・

■親の過保護。子どもを個人としてみる必要があるのでは？【40 歳代・男性】
■大人でも直面しない、背負わないような負荷を特定の子どもが引き受けるような変な事件をみる。そのような子どもが救われるような環境があるように思えない。【40 歳代・男性】

## これからの取組

**未来を担う子どもが健やかに育つ環境づくりを社会全体が一体となり、大人の責務として果たしていくという理念を推進していきます。**

## 3.高齢者の問題では・・・

「病院や養護施設において嫌がらせや虐待をすること」が多い。
70 歳以上で「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」が多い。

## ほかにもこんな意見が・・・

■高齢者の交流の場（施設）が必要。【70 歳以上・男性】
■高齢者に対する対策は進んでいるように感じる。【30 歳代・女性】

## これからの取組

**すべての高齢者を地域全体で支える仕組みを確立するとともに、高齢者が健康で生きがいを持ち、社会を構成する重要な一員として、安心して自立した生活を送ることができる社会の実現を目指します。**

人生100年時代 を迎え、マルチステージ（様々な生き方、働き方が多様化されたステージ ）が注目されています。

## 4.障がい者の問題では・・・

「差別的言動をすること」、「就職・職場で不利な扱いをすること」が多い。

## ほかにもこんな意見が・・・

■軽度の障がいがある方が、学校や社会でうまく適応できないことが多い。周囲のサポートや理解、支援体制の不足。【30 歳代・女性】
■学校で手話などを学ぶ機会が無いこと。信号などにすべてにおいて、障がい者への対応が欠けている。【30 歳代・女性】

## これからの取組

**障がい者も参加できるような地域交流を推進し、市民の理解と啓発の向上を図り、障がい者に対する人権侵害や差別等の解消、雇用・就業の促進、障がい者の権利を守る相談体制の強化を進めます。**

「障害者差別解消法」では、本人と十分話し合い、個別に対応する「合理的配慮」が求められています。

バリアフリーは、その名の通りバリア、つまり障がいを除去するという意味です。障がいのある人を前提に、その人にとっての障がいを排除しようという考え方です。

これに対してユニバーサルデザインは、できるだけはじめからバリアのないデザインにしようという考え方です。さまざまな障がいがある人々にも便利であるだけでなく、外国籍の人、お年寄り、子どもにも使いやすくしようというのがユニバーサルデザインの趣旨です。

## 5.部落問題では・・・

「結婚問題で周囲が反対すること」、「身元調査をすること」が多い。
「差別的言動をすること」、「就職・職場で不利な扱いをすること」が多い。

## ほかにもこんな意見が・・・

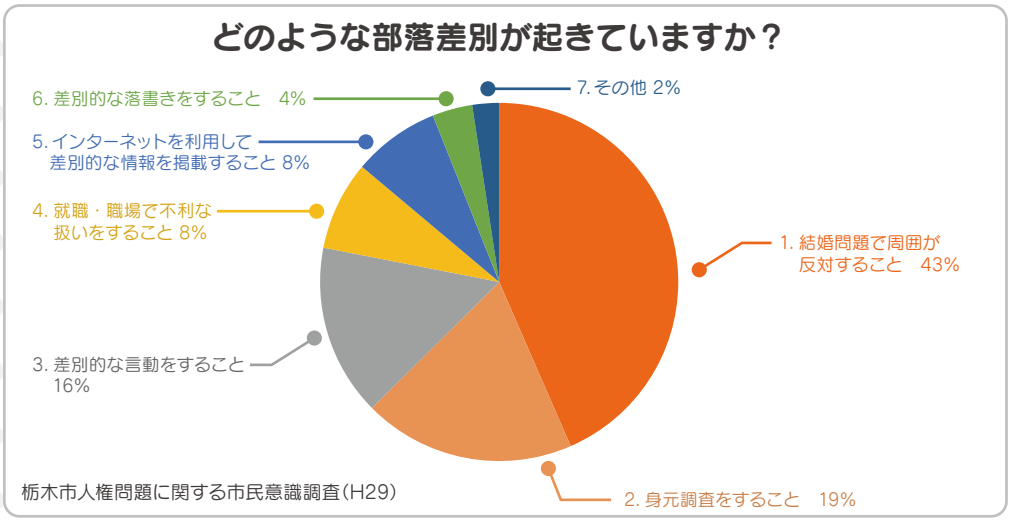
■同和問題は、昔のことだと思っています。が、未だに同和問題がある地域が存在するのは、非常に悲しいことだと思う。同じ人間として人格のある人として、お互いを尊重して住みやすい街、そして市であってほしいと思う。少子高齢化の社会で、差別などはなく、みな平等に助け合いの精神で暮らしていけたらいいと常に思っています。（女性・50歳代）
■今回のアンケートで、同和問題の結婚について両親に反対された友人を思い出しました。当時友人から相談を受けて、私は「根深い問題だから何とも言えない」と言った覚えがあります。結局、両親が親戚の方々に了承を得て結婚しました。それまでには猛反対した親戚が縁を切ると言って大変だったようでした。無関心ではいけないことですね。（女性・50歳代）
■被害者の声を出来るだけすくい上げ、市民に紹介する事と書きましたが、これが実にむずかしい。個人を特定されない方法が有るかどうか。意見を出しにくいかも知れない。問24（部落問題の解決に対する態度）の問題なんか特にそう。人の心の在り様だから。小生の解決方法など、言っただけで非国民扱いでしょう。でもこれしか考えつかない。実現はないでしょうが。だから解消はないというべきか。理不尽なことですね。（男性・70歳以上）

## これからの取組

**部落差別のない社会を実現するために、教育・啓発等を推進するとともに環境を整備し、さらに教育・啓発活動に携わる人材の育成に取り組みます。**

「寝た子を起こすな論」との決別

学校教育や行政による啓発を行わないということは、市民が「部落問題を知らなくなる」ということではなく、「部落問題を差別的に知ってしまう」ことを意味すると言われています。差別をする側の情報を先に知ってしまうことになります。



外国人も地域で活躍する住民の一人として捉え、ともに暮らしていくという多文化共生の意識を 持つことが重要です。

## 6.外国人の人権では・・・

「外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分でないこと」、「就職・職場で不利な扱いをすること」が多い。

## ほかにもこんな意見が・・・

■災害時の案内が不足している。【20歳代・女性】
■言葉の壁があるため外国語で日本の生活（例：ごみの分別、後片づけなど）を分かりやすく行政と一緒に説明を徹底し、住みよい環境を作る必要がある。【70歳以上・男性】

## これからの取組

**多様な国籍、文化、習慣、価値観を認め尊重し合い、国籍や人種、民族を問わず外国人が安心して暮らせるよう、人権を尊重する多文化共生社会づくりを進めます。**

## 7.インターネットによる人権侵害では・・・

「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」、「子どもの間でインターネットを利用したいじめ問題が発生していること」「個人情報の不正な取扱いや横流し、流出などが発生していること」が多い。

### ほかにもこんな意見が・・・

■事実でない事でも本当の事のようになってしまう事。取り消せないことが問題。【40 歳代・女性】

■栃木市に関わらず言える事ですがインターネットの使用やスマートフォンの使用により、小中高生のいじめが発生していること、また、悪質なものになっている事が気になります。インターネットも同様です。犯罪に巻き込まれる学生を一人でも減らしてほしいです。インターネットの怖さも学校で指導してほしいです。【女性・20歳代】

### これからの取組

**インターネットによる人権侵害への適切な対応を図るとともに、個人情報保護の観点から、本市で保有する個人情報の適切かつ厳重な管理に努めています。**

フィルタリング、使用のルール、マナーは、子どもの人権を守ります。

顔が見えないからこそ、相手の人権を尊重することを 忘れず、配慮をもって利用しましょう！

楽しいコミュニケーション手段であるはずのサイトやアプリですが、利用する際には危険な犯罪に巻き込まれることがないか、注意を怠らないことが重要です。

## 8.性的指向・性自認にかかる人権では・・・

「差別的な言動をすること」、「職場・学校において、嫌がらせをすること」が多い。

### ほかにもこんな意見が・・・

■同性での結婚に対する理解が少ない。【20 歳代・女性】

■お笑い番組やバラエティー番組での扱い方がおかしい。【40 歳代・男性】

### これからの取組

**性的マイノリティと呼ばれる人への偏見・差別等の人権問題の解消に努めるとともに、多様な性のあり方に対する理解を深めるための教育・啓発を進めます。**

ＬＧＢＴ等（性的マイノリテイ）当事者は、8％との調査結果が出ています。生きづらさを抱えている人が周りにいます。

※日本労働組合総連合会 2016年調査

ＬＧＢＴとは

レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（性同一性障がい含む、心と出生時の性別が一致しない人）それぞれのアルファベットの 頭文字をとった言葉で、その人を表す言葉です。

アライとは

英語の「ALLY（支援者）」の意味で、LGBTへの理解を示し、積極的支援する人をいいます。アライが増えることで誰もが「自分らしく」生きやすい社会へとつながっていきます。

## 9.働く人の人権では・・・

問題と思う内容では、「長時間労働や休暇の取りにくさなどから健康で文化的な生活が送れないこと」、「非正規雇用者の割合が高くなり、待遇の差が大きくなっていること」が多い。

### ほかにもこんな意見が・・・

■「非正規雇用と正社員の賃金格差が無くなること、子どもがいる女性でも働きやすい職場が増えること、誰でも働く意思があれば入れる保育園や学童保育があること、サービス残業やサービス休日出勤が無くなること」が希望です。【女性・30歳代】

### これからの取組

**長時間労働の抑制に向けて、企業や関係機関への働きかけを進めていくとともに、働きやすい環境づくりのための育児・介護休業制度の普及・促進を図り、仕事と子育て・介護の両立支援を進めるための情報提供や意識啓発に努めていきます。**

企業も社会を構成する一員であり、地球環境や人権に配慮した行動を行うべきであるとする、「企業の社会的責任」（CSR）という考え方が広まっています。

## 10.災害に伴う人権問題では・・・

東日本大震災に起因する偏見・差別について、約半数の人が「差別がある」と答えている。

### ほかにもこんな意見が・・・

■災害時の案内が不足している。【20歳代・女性】

### これからの取組

**「栃木市地域防災計画」に基づき、災害時における要配慮者や性別等によるニーズの違いなど多様な視点に十分配慮し、人権侵害を発生させない教育・啓発に努めます。**

## HIV感染者・ハンセン病患者等

エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病患者及び元患者の人権を守るための啓発及び感染症等に対する正しい理解を深め、偏見や差別意識の解消を図っていきます。

## 犯罪被害者とその家族

犯罪被害者等の人権が尊重されるよう相談体制の充実を図るとともに、関係機関と連携し、自立を支援します。また、市民一人ひとりが犯罪被害者等の人権に配慮できるよう、教育・啓発を推進します。

## 刑を終えて出所した人

刑を終えて出所した人が社会の一員として生活できるために、偏見・差別を解消するための教育・啓発を実施していきます。

## ホームレス等生活困窮者にかかわる人権

今後の社会情勢や雇用情勢等を踏まえ、ホームレス等の生活困窮者の自立支援を促進するとともに、偏見・差別を解消するための教育・啓発に努めます。

## アイヌの人々

民族としての誇りを尊重する社会を目指して、アイヌの人々の伝統と文化について理解し、尊重するための教育・啓発に努めます。

## 北朝鮮による拉致問題

多くの市民が拉致問題への関心と理解を深めることができるよう、教育・啓発に努めます。

拉致問題等の解決には、幅広い国民各層及び国際社会の理解と支持が不可欠であり、その関心と認識を深めていくことが大切です。

## 市の取組に対しては・・・

□このアンケートが届いてから、「こんなことがあるのか」と考えるようになりました。普段の日常生活の中で、もう少し周りを見て考えていきたいと思いました。何もなく、生活している事は当たり前ではないのだと、今の自分は幸せなのだと。選んでいただきありがとうございました。【女性・40歳代】

□今この時代に、人権問題に関する項目がこんなにあることにもびっくりです。たぶん私以外にも知らない人が多いのでは？学校の授業にも人権問題に関してこんなに教えてくれているのですか？知らない大人の人も多いのでは？もっと多くの大人が人権問題に関心を持たない限り、この世からこの問題はなくならないと思います。まずは子どもから人権問題の授業を充実させることが一番なのでは。どうでしょうか？私も高校の授業でやりました。【女性・40歳代】

□日常生活において、人権問題に対して自分の意識の低さを痛感させられました。このアンケートを受けさせていただいて、もっと社会に目を向けて身近な人権に関係する問題に関心を心掛けていかなくてはと思いました。【女性・60歳代】

□人権尊重社会実現の取組みで特に重要と考えるのは、子どもの頃からの意識教育（家庭内や学校・地域社会等で）と思います。そのためには、子どもから大人までの広い年齢層を対象にした、広報活動と相談救済機関の充実が急務と考えます。【男性・70歳以上】

□個人思想、宗教、ジェンダー問題と解決に向かうべき問題は数多く、国民、市民そして個人として向かい合って行かなければならないと思うばかりです。【男性・60歳代】

□栃木市の人権に対する取り組みを知りませんでした。ただ行うのではなく、人権問題に対して本気で身近な問題であることを理解し、人々の意識改革が必要ではないかと思います。【男性・20歳代】

## これからの取組

**これまでにあげた他の人権問題、例えば、性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引や社会環境の変化等に伴い新たに生じる人権問題などに対し、マイノリティ（少数者）の人権が尊重される社会を目指し、あらゆる機会を通じて人権教育・啓発の推進を図り、相談・支援など包括的に問題解決を推進していきます。**

余白にみんなの「こんな栃木」「あんな栃木」
いろいろな夢を描いてみましょう！

大人の人も子どもになった
つもりで、描いてみてくださいね！

- 人が助け合っているまち
- 子どもたちが仲良く遊んでいるまち
- きれいな花が咲いているまち
- 誰もが夢を語れるまち
- 仲良く散歩する老夫婦がいるまち
- ユニバーサルデザインを考えよう
- 障がい者にやさしいまち
- 外国人が困らないまち
- あいさつが飛び交うまち
- ちいさなおせっかいで、一人ぼっちを作らないまち
- 高齢者の「きょういく（今日行くところ）、きょうよう（今日の用事）」を作る
- 新しくなくていいから、清潔感があってほしいな
- 町が明るいと人も明るく見える
- みんなで協力しないとできないよね
- 心が豊かなことが幸せ

みんなで
一緒に
考えようね

誇れる
栃木市に
したいな

きっと、素敵な
栃木市に
なるよね

栃木市マスコットキャラクター
とち介

**栃木市生活環境部人権・男女共同参画課**

〒328-8686 栃木市万町9番25号

**TEL 0282-21-2161**
**FAX 0282-21-2692**

ホームページ https://www.city.tochigi.lg.jp


イラスト：栃木女子高等学校美術部